

Ⅱ 樹苗養成事業に係る種子発芽検査

(実施期間：令和元年度 予算区分：県単 担当：富森加耶子)

1 目的

県内の優良な林木品種の造林用種子の播き付け量を算出するため、県営採種園から採取した種子の発芽率を調査する。

2 実施概要

(1) 場 所：鳥取県林業試験場

(2) 試 料：クロマツ1点、アカマツ1点、ヒノキ1点

(3) 方 法：「林木育種の検査方法細則」（農林水産省森林総合研究所 1969）に基づき、発芽率を調査した。

3 結果

各樹種の発芽率は表のとおり。アカマツの発芽率は過去5年間の平均72.0%と比較して著しく低く、未発芽率・腐敗率が高かったが、この原因は不明である。

表 調査結果

樹種	採種年度	採取量 (g)	純量率 (%)	1000粒重 (g)	発芽率 (%)	未発芽率 (%)	腐敗率 (%)	シイナ・シブ率 (%)	虫害率 (%)	備考
クロマツ	令和元年	16,460	98.9	16.8	69.3	0.3	20.5	10.0	0.0	抵抗性品種
アカマツ	令和元年	1,550	98.3	11.0	5.3	42.3	51.5	1.0	0.0	抵抗性品種
ヒノキ	令和元年	2,495	95.5	2.8	11.5	0.8	0.3	82.0	0.0	精英樹